

平成 29 年度第 2 回熊野市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成 29 年 10 月 5 日（木） 午後 1 時 30 分から
2. 場 所 文化交流センター 多目的ホール
3. 出席者 熊野市長 河上敢二
熊野市教育委員会
倉本教育長 大久保委員、糸川委員、高見委員、北野委員
4. 事務局関係
教育委員会事務局
岡本総務課長、楠学校教育課長、杉本社会教育課長
太田総務課長補佐、小瀬総務課庶務係長
市長公室
大西市長公室長
総務課
仲森総務課長
5. 事 項
(1) について

岡本総務課長 定刻になりましたので、ただいまから平成 29 年度第 2 回熊野市総合教育会議を開催いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます、教育委員会総務課長の岡本でございます。よろしくお願いいたします。

最初に、総合教育会議の開催にあたりまして、河上市長からご挨拶をお願いいたします。

河上市長 本日は、平成 29 年度第 2 回目の総合教育会議でございますが、教育委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より当市の教育行政の推進について、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

本日の総合教育会議において、今年度の重点施策 6 項目の進捗状況について報告をさせていただきますとともに、報告内容を基に今後の方向性について説明をさせていただきたいと考えているところでございます。

説明する中にも入るかと思えますけれども、学力向上という重点項目でございますが、すでに結果が発表されておりますし、教育委員さんの皆様には、十分にご承知をいただいているところでございます。

総括的に申し上げますと、小学校では、全国平均に比べて全教科の平均点がマイナスになっているということでございます。中学生については、全国平均よりは下回っておりますが、県平均よりは上回っているということでございます。それに加えて、どの年度を見ても、例えば今年度の中学生の子どもたちは、小学校の時は平成 26 年度になる訳ですけれども、その 26 年度に比べると全国との差が非常に小さくなって来ているということでございます。さかのぼって見ても、28 年度に中学生で受けた子どもたちが、小学生時代と比較すると、その差は小さくなっております。中学生になってから学力のレベルを上げて、追い越してはおりませんけれども、追いつきつつあるという状況であるという風に思っております。

これも授業改善等の結果が反映している部分が大いにあるのではないかと思います。その授業の改善の話ですが、子どもたちへの質問の中で、先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか？という問いに対して、小学生でも中学生でも全国平均に比べて 10 ポイント以上、丁寧に教えてくれると答えてくれております。そういう授業改善の結果が、多少表れていますし、今後大きく改めて全国平均に近づき、全国平均を超えるようになることを強く期待をしているところでございます。今後も学力向上をはじめ、子どもたちが安全安心で学校生活を送ることができるよう、そして、心豊かに生きる力を育むことが出来るように、今後も取り組んで参りたいと考えております。

また、社会教育の分野におきましても、昨年度の課題をしっかりと踏まえた上で、生涯学習事業の充実やインターハイや国体に向けての取組など、さらに進めて行く必要があると考えております。

今回の報告につきまして、年度途中ではございますけれども、来年度に向けてのご意見も含めて、皆様方の忌憚のないご意見をいただければ幸いです。本日はどうかよろしく願いいたします。

岡本総務課長

ありがとうございました。お手元に配布の資料の確認をさせていただきます。5 種類ございます。本日の事項書、平成 29 年度第 2 回熊野市総合教育会議、資料、コミュニティー・スクール(学校運営協議会)の導入について、全国高等学校総合体育大会三重県大会及び国民体育大会三重県大会に向けたスケジュールの 5 種類となっております。

よろしいでしょうか。

それでは、事項書 2 の (1) 平成 29 年度主な重点施策の進捗状況と今後の方向性について、に移らせていただきます。平成 29 年 5 月 25 日に開催しました『第 1 回熊野市総合教育会議』において、6 つの重点施策と 25 の主な取組内容について、それぞれ協議をさせて頂きました。今年度の上半期 9 月 30 日までの取り組み状況と今後の取り組みについて説明をさせていただきます。重点施策 1 つが終わる毎に、ご質問やご意見等をいただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。第 2 回熊野市総合教育会議の資料の 1 ページを開いていただきたいと思います。

まず、1 ページの「重点施策 1 学力向上の推進」についてですが、3 ページまで 5 事業となっております。

まず取組事業名、学力向上支援事業ですが、別冊資料につきましては、1 ページから 3 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、市教委が指定した学校において招聘した外部講師に指導助言をいただきながら、授業研究に取り組むとなっております。上半期の取組状況につきましては、平成 29 年度の研究指定校は 4 校となっており、「全国学力・学習状況調査」等の分析結果から、学習課題を明らかにし、授業方法の工夫改善を行っているところで、外部講師を延べ 6 回、学校に派遣しました。今後の取組でございますが、公開授業研究発表会の開催と引き続き、外部講師の派遣を計画しております。次年度以降も、年間 4 校指定し、各校 2 年間の研究を行ってまいります。

次に、学力向上推進研修事業でございます。資料につきましては、3 ページから 4 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、市教委が研修会を実施するなどして教員が授業を工夫し、あるいは自らの指導力に高めることによって、児童生徒の学力の向上を目指します。取組状況につきましては、三重大学教育学部の森脇健夫教授を迎えて学力向上推進研修会を 2 回開催しております。今後の取組ですが、学力向上推進研修会の開催や先進校視察を計画しております。

2 ページに移らせていただきます。取組事業名、学力向上特別支援事業ですが、事業内容といたしまして、木本中学校を指定校とし、「学びの共同体」等の具体的な手法を取り入れながら、市内の学力向上のパイロット校としての実践的な取組を進めます。取組状況といたしましては、元静岡県富士市立岳陽中学校校長を講師としてお招きしまして、授業研究及び事後検討会を実施しまして、関係者 30 名が参加しております。今後の取組ですが、公開授業研究会を 2 回予定

しております。

次の地域未来塾事業でございます。資料につきましては、4 ページから 5 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、夏・冬の長期休業中に、小学校 4 年生から 6 年生の希望児童を対象として、学習支援を行います。講師には、地域出身の大学生や教員 OB 等をあてます。取組状況につきましては、夏休み期間中、15 日間、延べ 305 人の参加がありました。今後の取組ですが、冬休み期間中も予定しております。今後も学習支援を行い、学習意欲の喚起と学力向上につなげます。

次に 3 ページをご覧ください。取組事業名、グローバル体験事業でございます。資料につきましては、6 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、英語の世界を楽しく体験させることにより、グローバル社会に対応できる児童生徒の育成をめざします。取組状況につきましては、グローバル・スポーツ・イベントや夏休み英会話教室を ALT が中心になって開催いたしております。グローバル・スポーツ・イベントは 42 人、英会話教室は 32 人の参加がありました。今後の取組ですが、今後も 12 月にグローバル・ウィンター・フェスティバルを開催するなど、事業を継続してまいります。以上が、「重点施策 1 学力向上の推進」の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

北野委員

地域未来塾についてお聞きしたいのですが、講師の先生の募集方法はどのような形で行っているのか教えていただきたいのですが。

楠学校教育課長

基本的には、地元出身の教員を目指している大学生です。今年度、教育実習に来られていた大学生等を中心に募集をかけた上で、参加をしていただいております。今年度 11 名の大学生が講師として地域未来塾に参加していただきました。

北野委員

今後、ホームページなどで募集をかける予定はないのですか。

楠学校教育課長

状況に応じてホームページの利用も考えないといけないと思っております。ですが、毎年一定の教育実習生がおりますので、現在のところは教育実習生を中心に募集をかけている状況です。

北野委員

ありがとうございました。

岡本総務課長

他にございませんでしょうか。

高見委員

同じく地域未来塾事業についてなんですが、会場によって人数の差があると思うのですが、その人数に対して講師の割り振りはどのように決めているのですか。

楠学校教育課長

地域未来塾は、市民会館で実施するほか、山間部へ出向いて実施しております。基本的に 4 年生、5 年生、6 年生が対象ですので、その児童の人数で講師を割り振っております。児童数が少ないところ

は、1人から2人で行っております。

高見委員

ありがとうございます。

岡本総務課長

よろしいでしょうか。

糸川委員

英会話教室について、小学生と中学生が対象ということなんです
が、中学生のところでは8月25、29日の13時半から15時半に開催し、
2人が参加されておりますが、この日だけ英会話教室があったのかこ
の日以外でも予定されていて参加者がこの日だけの参加だったのか
教えていただけますでしょうか。

楠学校教育課長

英会話教室は基本的には小学生が対象となっております。8月25、
29日のみの英会話教室は中学生対象に募集をかけて2名の申し込み
があり参加していただきました。

糸川委員

元々は、小学生対象なのですね。

楠学校教育課長

はい、そうです。

岡本総務課長

よろしいでしょうか。

河上市長

この地域未来塾事業について、実施されていることは良いのです
が、実施したことでどうなったかというところを把握していないの
ではないかと思えます。参加人数が少ないところでは、マンツーマ
ンですよね。自分の不得手なところができるようになったとか、実
際に夏休み後のスキルで成績が上がったとか、そういう部分の分析
はやってないのですか。

楠学校教育課長

地域未来塾に参加したことによっての2学期以降の詳細の部分は
把握しておりません。ですが、地域未来塾の実施後にアンケートを
取らせていただいております。地域未来塾に参加した子どもたち
の感想や思いについては把握できています。

河上市長

回数が少ないので、これで簡単に苦手分野が完全に克服するこ
とは難しいと思えます。これによって、問題になっている家庭学習の
時間が長くなったりするとか、そういう風に繋げられるようにする
とか、評価ができるようなやり方で進めることも、是非、創意工夫
で取り組んでいただきたいと思います。

岡本総務課長

ありがとうございました。次の施策に進ませさせていただきます。4ペ
ージの「重点施策2 豊かな心の育成」についてですが、5ページま
で3事業となっております。

取組事業名、いじめ防止基本方針の見直し事業内容といたしまし
て、熊野市いじめ防止基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針の
見直しを行います。取組状況につきましては、各学校で見直しを進
めているところです。今後の取組ですが、より実態に合ったもの
とするため、すべての学校において継続的な見直しを行います。

次の取組事業名、いじめ対策事業です。資料につきましては、7ペ

ージをご覧ください。事業内容といたしまして、学級満足度調査(QU調査)やいじめに関するアンケートを実施し、より良い学級・学校づくりや、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を図る。さらに、熊野市いじめ問題対策連絡協議会を開催し、効果的な啓発や対策について協議する。取組状況につきましては、いじめ対策事業研修会の開催。いじめ問題対策連絡協議会の実施。いじめの問題を含むアンケートを実施し、未然防止、早期発見、早期対応に努めました。4月～9月いじめ認知件数は、小学校16件、中学校1件となっております。今後の取組ですが、QU調査の実施、第2回いじめ問題対策連絡協議会の開催、学期毎のいじめの問題を含むアンケートを実施する予定です。

次に5ページをご覧ください。取組事業名、郷土教育の充実 資料につきましては、7ページでございます。事業内容といたしまして、小学校社会科副読本「わたしたちの熊野市」を活用するとともに、地域で活躍している方をまねいて、地域学習の充実に取り組みます。また、学校における囲碁教室事業を行い、日本唯一の黒碁石の産地である、ふるさと熊野市を愛する心を育てます。取組状況につきましては、各小学校において「わたしたちの熊野市」を活用するとともに、ゲストティーチャーを招くなどして地域学習を進めています。また、学校における囲碁教室事業、学校給食における新姫の活用など郷土の自然、産業等への理解や愛情をはぐくむための学習を行っております。今後の取組ですが、さらに地域学習の充実に取り組んでいきます。以上が、「重点施策2 豊かな心の育成」の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

河上市長

数字の確認をしたいんですけども。7ページの小学校のトータルで16件とありますが、上の方の15件の中身で重複はないのですか。要するに、いじめ問題のアンケートで12件分かったということの中に学級担任が発見した、保護者からの訴えで分かったという3件は、外数なんです。対象児童は15人ということですか、それとも12人ですか。

楠学校教育課長

3件も15件の中に含まれております。

河上市長

対象児童数としては、12人ということですか。

楠学校教育課長

対象児童は15人です。

河上市長

この件数の解釈の仕方は、アンケートでは出やすいですけども、このアンケートでも出ないという風に解釈する訳ですね。たまたま発見できた、保護者が分かったと。アンケートが全て万能ではないということがここで明らかになるんです。

楠学校教育課長

当然、児童生徒また保護者の訴えもアンケートの中で出てくると

は思います。ですがそれは、アンケートではなくて学級担任または保護者の訴えで分かったということです。

河上市長

いじめの発生の時点がアンケート調査より後になる時は、そういうこともあるんでしょうけど。アンケートで拾いやすいということが、これで分かるんですが、必ずしもアンケートが万能でないということが、逆に言うと外数で分かりますので。やはり、相変わらず学校の先生に気を付けていただく必要もありますし、保護者からの聞き取りも時にはやる必要もあると思います。アンケートで全て拾えるのであれば、これは万能な手段として良いですが、実際には拾い切れていない部分があるということですよね。

楠学校教育課長

アンケート調査は、こちらにとっても有効な手段だと思えますが、今のいじめの定義に基づいて、子どもたちが少しでもいじめだと思ったことは、アンケートに書いてくれています。12 件の中でいろいろなケースがございます。例えば、友達と遊んでいる時にいやな思いをしたとか。その案件をあげることによって、学校としては全てを把握できるということです。小さなことかも知れないですが、そこから波及して、いろいろな問題が起こるケースもございます。ですので、子どもたちが書いてくれたものを全て挙げております。そこから早期発見、早期対応に繋がると考えております。

岡本総務課長

他にございませんでしょうか。

大久保委員

いじめの件数の内容で言うと、何か言われたとか何かをされたという項目になっていますが、子どもたちの中で学校へ行って 1 日誰も話しかけてくれない、無視される子どももいると思うんです。そういう子どもはこのアンケートには出てこないんですか。

楠学校教育課長

学校はこのアンケート内容をすべて把握しております。大久保委員がおっしゃられる状況の子どもはおりません。そういう状況の子どもがいたら、学級担任が動くはずですよ。

倉本教育長

中学校は 1 件でございます。小学校の児童は、少しでも嫌なことがあると素直に書いてくれる傾向にあります。中学校の生徒は、友達や先輩、後輩、先生を意識したりすることがありますので、これが実数だと思っておりません。ですので、ここに表れてこない、大久保委員がおっしゃられたこと、子どもが書けない部分を子ども同士の中で教師に知らせてくるとか解決しようとするとか、教員がそういうところをしっかり見るとか、そういったところが今後の大きな課題であると思っております。ですから、1 日誰も話しかけてくれないというようなケースで、本人がアンケートに書かない場合、それから、担任に訴えない場合は、アンケートの数字として表れてこないことになります。

楠学校教育課長 大久保委員が言われたケースについて、そういうことも含めて QU 調査を行っております。ただ、表には出ない部分で学級の集団の中で自分がどういう風に認められているのかとか、満足しているのかということが QU 調査で分かりますが、これは万能ではございません。

各学校長の話をお聞きすると、教師が子どもに、1対1で見守る目はとても大事なことです。ですが、QU 調査の結果ではそうではありません。子どもは不満足で答えているということが分かってきます。そういった中で、QU 調査も含めて子どもたち1人1人を見ていくということが大切だと考えております。

河上市長 2つあって、1つは、このアンケート調査が少なくとも小学生にとっては、問題を提起しやすい取組だと思っておりますが、先ほど、大久保委員が言われた無視されるというのは、自分で書いてくるのですか、それとも項目の中に入っているんですか。というのは、自分で書くのはなかなか大変なんです。いじめの種類を類型ごとに書いていくと選びやすいので、問題を発見しやすいようなアンケートに少しずつ工夫をしていく方がいいのではないかと思います。

もう1つは、トータル17件について、どういう対応がとられているのでしょうか。

楠学校教育課長 アンケートについて、さまざまな工夫の余地があります。ですが、アンケートの中で、いじめを見たことがありますか、という問題もあります。それによって、自分が書けないけど、誰かが書いてくれて、いじめが発見される場合もあります。

また、対応については、担任等の聞き取りがあります。ケースによっては、謝罪に行く場合もあります。それを学校及びクラスの課題に捉えて、日頃子どもたちに、いじめは決して許してはならない行為だと学習することが大事なことだと思っております。

糸川委員 郷土教育の充実についてなんですが、郷土教育ではないかもしれませんが、熊野市にはいろんなお祭りがありますよね。そのお祭りの日というのは、小学校はお休みにはならないのですか。

楠学校教育課長 基本的には、休みにはなりません。

糸川委員 花の窟のお祭りとかに、子どもが休みで参加すると、お正月や夏休みのような感覚で、あの日には花の窟のお祭りだなと記憶に残ると思います。私は新宮市出身なんですが、私が小学校の時は、新宮祭りの日には、お昼から全員で見に行きました。なので、新宮祭りの時期が来たら、もうすぐ新宮祭りだなとか。御燈祭りは、学校は休みにならないのですが、御燈祭りが終わった次の週の図工の時間には必ず御燈祭りの絵を描きました。

お祭りとか地域の行事が、身をもって蓄積されていて、ずっと記

憶に残っています。郷土のお祭りとか行事など、いつまでも記憶に残らせること感じさせることは、子どもの時の経験だと思います。学校の授業もお休みにすると他にいろいろな支障があるかも知れませんが、授業の一環としてのそのような取組があってもいいのではないかなと思いました。

岡本総務課長

ご意見ありがとうございました。

次に、6 ページの「重点施策 3 安全で安心な学校環境づくり」に移らせていただきます。7 ページまで 4 事業となっております。

まず、取組事業名、学校防災対策推進事業でございます。市教委主催の研修会を開催し、災害時に、児童生徒及び教職員の安全を確保するとともに、平常時から万全の対応ができるよう、各学校・地域の実態に応じた防災対策・防災教育を推進します。取組状況につきましては、三重大学の川口淳准教授を迎えて、学校防災対策推進研修会(避難所運営訓練 HUG)を開催しました。今後の取組ですが、学校防災対策推進研修会を 2 回、開催する予定です。

次の取組事業名、防災教育の充実でございます。別冊資料につきましては、8 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、防災ノート等を活用しながら、学校・家庭が連携した防災教育を充実します。また、児童・生徒が直接校区内を歩いて、危険箇所等を調べ、防災マップを作成することで、防災意識を高めます。取組状況につきましては、防災ノート、ワークシート等を活用した学校・家庭が連携した防災教育を進めております。8 校で児童生徒が直接校区内を歩いて危険箇所等を調べ、3 校で防災マップを作成するなどして、防災意識を高めております。今後の取組ですが、学校・家庭が連携した防災教育をさらに推進します。

次に 7 ページに移らせていただきます。取組事業名、各種訓練等の充実でございます。資料につきましては、8 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、地域防災組織と連携し、各学校が置かれている地理的条件に応じた避難訓練等を行います。取組状況につきましては、5 つの学校において避難訓練等を行いました。今後の取組ですが、さらに各学校と地域防災組織等との連携を深め、防災訓練等を実施していきます。

次の取組事業名、関係部局等との連携でございます。事業内容といたしまして、防災対策推進課をはじめ、関係部局と連携しながら学校防災の取組を推進します。取組状況につきましては、熊野市防災対策推進研修会ほか、学校防災の取組を実施しております。今後の取組ですが、さらに連携を深め、学校防災の充実を進めます。以上が、「重点施策 3 安全で安心な学校環境づくり」の説明です。ご質

間やご意見等ございましたらよろしく願いたします。

河上市長

理科とか社会、数学の教育の中で防災そのものを取り上げてやることはされてないのですか。

例えば、小学校の場合、弟が家を時速3キロで15分前に出発しました。次にお兄ちゃんが時速5キロで15分後に出発しました。何分後に追いつきますか。それを津波に置き換えると非常に分かりやすいじゃないですか。そういうようなことは取り入れてないのですか。

楠学校教育課長

中学校の理科で津波のことを取り入れています。社会でもリアス式海岸の特徴などで防災と関連して授業を行っています。

河上市長

今いらっしゃるかどうかわかりませんが片田先生が、岩手でやった防災教育の中には、単に防災また逃げるための教えではなくて、日常の授業の中に防災も取り入れたということを聞いていました。そういう教材があれば良いのですが、理科の中に防災も取り入れるというような発想も必要ではないかと思しますので、検討項目にしておいてください。

大久保委員

今は、学校での防災訓練や避難訓練が行われていると思います。また、各地域で防災訓練が行われています。実際、災害はどこで起こるかわかりません。すでに学校でやっていただいていると思うのですが、災害が起こった時に、自分がどう行動すべきかということを考えられるように意識付けていくことも大事だと思います。

楠学校教育課長

昨年度の総合教育会議の中で、学校周辺や地域の危険個所を子どもたちの目線で見ることが大事だということでした。教育委員会としても今年、危険個所を調べて、それをまとめた防災マップ作りに力を入れております。学校だけではなくて、できれば地域の自主防災と一緒に歩いて歩んで行くということも進めております。

また、いつ災害が起こりえるかもわからないので、防災ノートを家庭に持ち帰って、どこに集合したらいいのかなどのお話をさせていただくことも指示しております。

岡本総務課長

他にございませんでしょうか。ないようでしたら、次の施策に移らせていただきます。8ページの「重点施策4子どもの読書活動の推進」についてでございます。9ページまで5事業となっております。

取組事業名ですが、子どもの心づくり事業（読み聞かせ）別冊資料につきましては、9ページをご覧ください。事業内容といたしまして、子どもの成長に合わせた読書活動をボランティアの協力を得ながら実施します。取組状況につきましては、「おはなしなみに」などの事業を月4回実施しており、延べ参加者は218名となっております。今後の取組ですが、子どもの読書活動は、健全育成にとっても欠くことのできないものであることから、引き続き実施してまいり

ます。

次の取組事業名でございますが、学校との連携、資料につきましては、9 ページから 10 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、学校への団体貸付制度の利用促進、小学校への読書ボランティアの派遣を充実させるなど、子どもの読書の機会を増やします。また、市内の小・中学校の児童生徒を対象に、読書の習慣がどの程度身につけているかの調査を行います。取組状況につきましては、団体貸付の貸出数は、2,038 冊。読書ボランティアの派遣については、5 校へ 11 回、対象児童は 172 人となっております。今後の取組ですが、団体貸付のほか、図書館見学会等の開催を通じて学校との連携を図り、子どもの読書の機会を増やします。市内の小・中学校の児童生徒を対象にアンケート調査を行います。

次の取組事業名でございます。ボランティア活動活性化事業、資料につきましては、10 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティア活動報告会・説明会等を開催します。取組状況につきましては、図書館ボランティア活動報告展示会を開催したほか、図書館ボランティア講座を開催し、22 名が受講されています。今後も、ボランティアの増員・養成を図るとともに今年度内に第 2 回目のボランティア講座を開催します。

次に 9 ページをお願いします。取組事業名、読書感想文コンクールでございます。資料につきましては、10 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、小中学生を対象に読書感想文コンクールを実施します。取組状況につきましては、冬季休業中の課題として取り入れていただくよう準備を進めております。今後の取組ですが、読書習慣の定着のため、継続して取り組んでいきます。

次の取組事業名、蔵書整備事業でございます。資料につきましては、11 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、児童書をはじめとした蔵書の充実を図ります。取組状況につきましては、今年度購入冊数は 3,343 冊で蔵書は 164,273 冊となっております。今後も児童書をはじめ、購入時、ジャンルにも配慮しながら蔵書の充実を図っていきます。以上が、「重点施策 4 子どもの読書活動の推進」の説明です。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

河上市長

最後の蔵書数は、図書館の蔵書数ですか。

杉本社会教育課長

はい、図書館の蔵書数です。

河上市長

そうしましたら、最初から図書館整備の時に、目標としていたのは、市民一人当たりの蔵書数をできたら県内ナンバーワンにしたい

という思いを込めて作っているのです、近隣等の比較とか県内の主なところの人口当たりの蔵書数をこれから参考に出してください。

杉本社会教育課長

はい、わかりました。熊野市図書館の蔵書数の目標は18万冊で、順次、計画・実施しております。ほぼ18万冊に近づいてきたかなと認識をしております。三重県下の図書館の数からいくと、熊野市は入館者数、蔵書数とも9番目か10番目に位置しております。県下では、一人当たりになると2番目くらいに本を蔵書しているところです。このため、近隣市町から熊野市は非常に頑張っているという評価もいただいています。

岡本総務課長

他にございませんでしょうか。ないようでしたら、次の重点施策5に移らせていただきます。10ページをお願いいたします。「重点施策5 生涯学習環境の整備」についてですが、11ページまで4事業となっております。

まず、取組事業名としまして、各種生涯学習講座でございます。別冊資料につきましては、12ページをご覧ください。事業内容といたしまして、多様な生涯学習機会を提供します。また、参加者等の意見を積極的に聴取し、効果的な情報発信についても注力します。取組状況につきましては、11講座を開催し、受講者数は、延べ947名となっております。今後の取組ですが、各種講座を開催するとともに、利用者のニーズを把握しながら常に事業の見直し等を図ります。

次に取組事業名、市民文化祭でございます。資料につきましては、12ページをご覧ください。事業内容といたしまして、日頃の文化芸術活動の成果を披露する機会を提供します。取組状況につきましては、市民文化祭の開催に向けて準備を進めています。今後の取組ですが、引き続き支援を行うとともに、観覧者の利便性向上や観客の増加を目指します。

次に11ページをお願いいたします。取組事業名、まちの人材活用事業でございます。資料につきましては、12ページをご覧ください。事業内容といたしまして、知識や技能を持つ人材を、まちの人材として登録・派遣し、地域の生涯学習活動の充実に努めます。取組状況につきましては、登録者数は110名、受講者数は、延べ494名となっております。今後も、市民と行政が協働することで、生涯学習環境の充実に図ります。

最後に、読書推進事業でございます。資料につきましては、13ページをご覧ください。事業内容といたしまして、市立図書館において、各種読書推進事業を実施するとともに、蔵書の充実に図っていきます。取組状況につきましては、月1回の文学講座やテーマ展示

等を実施するとともに、蔵書の計画的購入を図ります。文学講座の受講者は延べ 189 名となっています。今後の取組ですが、文学講座や企画展の開催、蔵書の充実、生涯学習環境をさらに整えてまいります。以上が、「重点施策 5 生涯学習環境の整備」の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

河上市長

延べで人数を出しても同じ人が来ているとものすごく大幅なずれが生じるんですよ。なので、延べという数字は参考数字で、実際の市民一人ひとりの数でどのくらいかという数字を出さないとミスリードになる可能性があると思います。

例えば、読書推進事業で 189 人という数字は、すごい数ですけども、10 人の人が 12 回来ればこれで 120 人になります。ですが、実際参加している人は 10 人なんです。なので、延べの数字はあくまでも参考数字で、実際の A さん、B さん、C さんという単位での市民の数を表記していただきたいと思います。実施していただいている取組の評価が難しくなりますので、今後注意をしていただきたいと思います。

杉本社会教育課長

文学講座につきましては、延べではなく、実人数になりますと名簿を作成して参加や出席を確認するという作業が必要になりますが、延べ人数ではなく実人数でご提言いただいておりますので、私どもとしましてもなるべく努力をしていきたいと思っております。

岡本総務課長

その他ございませんでしょうか。なければ、次の施策に移らせていただきます。最後になりますが、12 ページの「重点施策 6 生涯スポーツの普及と促進」でございます。13 ページまで 4 事業となっております。

まず取組事業名、市民健康スポーツ祭の開催でございます。別冊資料につきましては、13 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、市民に対し、スポーツ・レクリエーションの活動の場を提供し、生涯にわたり健康でいきいきしたスポーツライフの実現を図ります。取組状況につきましては、11 月 12 日（日）の開催に向けて準備を進めています。今後の取組ですが、子どもの減少、高齢化が進むなかでプログラムのリニューアルを望む声もあり、一人でも多くの参加をいただけるよう、新たな企画を検討していきます。

次の取組事業名、総合型地域スポーツクラブの育成事業でございます。事業内容といたしまして、生涯スポーツ社会の実現のため、子どもから高齢者までがスポーツに親しめるよう、スポーツ推進委員協議会の活動を活性化するとともに、地域スポーツクラブの事業を充実します。取組状況につきましては、15 種目のスポーツで、会員登録数は 397 名となっております。今後の取組ですが、スポーツ

推進委員の意見も聴きながら、スポーツクラブの充実を図ります。

次に、スポーツ少年団育成事業でございます。資料につきましては、14 ページをご覧ください。事業内容といたしまして、少年団の活動に対して支援を行い、青少年の健全育成を図ります。取組状況につきましては、熊野市スポーツ少年団親睦大会等を開催し、団員の親睦を深めました。現在の登録数は、13 団体、246 名となっております。熊野市・南牟婁郡交歓競技大会を開催するなど、今後も活動の活性化を図り、子どもたちの体力向上と健全育成を図っていきます。

最後に 13 ページをお願いします。取組事業名、高校総体、国体開催体制の構築事業でございます。事業内容といたしまして、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会開催に向け、諸準備を進めていきます。取組状況につきましては、高校総体や国体プレ大会の視察をはじめ、三重県大会準備会議等に出席しております。今後の取組ですが、各大会の実施体制の整備を図るとともに、芝生の状態向上など競技会場の環境整備も図っていきます。以上が、「重点施策 6 生涯スポーツの普及と促進」の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

河上市長

総合計画の目標では、市民が一週間のうちに一回スポーツをする割合を増やすことを目標にしていたと思うのですが、そういう評価ができるような数字の取り方をこれから工夫していただきたいと思えます。

杉本社会教育課長

現在、アンケート調査による数字を取っているところでございまして、市長ご指摘の数字は取れていない状況であります。

市民がスポーツをどこまでしているかという把握につきましては、体協への加盟団体や公民館等を利用している団体は把握できませんが、所属団体ではない、学校の体育館を利用して活動している方などについての実態の数字を把握することが難しい状況となっております。

河上市長

市長公室で取っているアンケートではないですか。

大西市長公室長

まちづくりアンケートの項目であります。

岡本総務課長

他にございませんでしょうか。

倉本教育長

市長から、延べ人数のお話がありました。実態を十二分に把握しているかと言うとそこまで把握しきれない状況であります。一人でも延べ人数でも人数を増やすというところに注力している状況です。新たな生涯学習講座への参加していただく方を増やすとか学校であれば、地域未来塾の本当に来てほしい学力に課題のある子どもたちの参加人数を増やすとか、もう少し深く考えてまいりたいと

考えております。

河上市長

教育だけではなくて、他の行政分野でも一番難しいところなんですけれども、そこに手をつかない限り変わらないので、そこは是非少しずつでも工夫をして本当の意味での参加人数を増やす取組をしていただきたいと思います。

岡本総務課長
糸川委員

ありがとうございます。他にご意見等ございませんでしょうか。

今の参加人数に課題があることについて、学力向上のところで、グローバル・スポーツ・イベントが6月4日(日)に井戸小学校で開催されていますが、いろんな学校の子どもが井戸小学校に集まったのイベントなんですよ。井戸小学校近辺に住んでいる子どもは自分で参加できると思いますが、井戸小学校から遠い子どもさんは、保護者が連れて行くという形になるかと思うんです。このイベント自体はとてもいいと思うのですが、こういうイベントを知らない子どももたくさんいると思います。せっかくこのような取組があっても、皆に情報が行き渡っていなかったら、とてももったいないと思います。なので、こういう取組を学校の授業の一環として取り入れていただいた方が良くはないかなと思います。学力向上というのは、国語や算数の点数を上げるだけではないと思うんですね。子どもたちのいろんな可能性を伸ばしてあげることが学校の一番の大事なことだと思います。子どもたちは自分が何に興味を持っているか、これから何を好きになるかということがなかなか分からないと思うんですね。都会の子どもだと周りのいろんなことを目にしたり聞いたりする中の環境であると思うのですが、やっぱりこの地方の子どもは、見たり聞いたりする機会も少ないので、それを学校教育の中で取り組んでほしいです。家庭環境などで、なかなか行けない子どもたちも平等に同じように体験ができるような仕組みがあればさらに良いと思います。

岡本総務課長

貴重なご意見をありがとうございました。全体を通してご意見等ございましたらよろしく願いいたします。ないようでしたら、次の項目へ進めさせていただきます。

それでは、事項書の2(2)平成30年度に向けた取り組みについての1つ目「コミュニティ・スクールの指定」について、学校教育課長から説明をお願いします。

楠学校教育課長

カラー刷りのコミュニティ・スクールの導入についてをご覧ください。まず制度改正の経緯ということで、平成27年教育再生実行会議第6次提言から始まりまして、同年に全ての学校がコミュニティ・スクールになることを目指すことや教育委員会が積極的に推進に努めるようにすべきということが示されました。本年3月に地方教育

行政法の改正によって、これまで任意設置から今は努力義務化となっております。コミュニティ・スクールは、5年後に地方教育行政法の見直しで義務化されるであろうと言われております。

そういった背景の中で、本市教育委員会としましては、まず裏面をご覧ください。平成28年度に新鹿小中学校が、コミュニティ・スクールの第一歩ということで手を挙げていただき、現在準備期間に入っております。平成30年度に本格実施を行います。それと同時に五郷小学校と五郷中学校も小中連携ということで、現在準備も整いまして、前倒しで実施をします。そして、平成31年度にその他の学校が準備期間とし、平成32年度に熊野市のすべての学校でコミュニティ・スクールを実施するよう計画を立てております。

現在、全小中学校では、学校評議員制度を導入しておりますが、コミュニティ・スクールは、さらに地域と学校が一緒に汗を流して責任を持って子どもたちを育てていくということで、平成32年度から全小中学校で実施していくことを考えております。以上でございます。

岡本総務課長

ただいまご説明いたしました「コミュニティ・スクールの指定」につきまして、ご質問等ございましたらよろしくお問い合わせいたします。ないようですので次の事項に移ります。

「全国高校総体及び国民体育大会開催に向けての取組状況」について、社会教育課長から説明をお願いします。

杉本社会教育課長

「全国高校総体及び国民体育大会開催に向けての取組状況」について、ご説明を申し上げます。お手元の全国高校総体及び国民体育大会のスケジュールを提示させていただいております。

まず、全国高校総体 三重県大会につきましては、平成30年8月2日から12日まで主に山崎運動公園を中心として実施をさせていただきます。本年度は4月25日に高校総体実行委員会を立ち上げまして、体制の強化について行っております。特に山崎運動公園の芝生の管理について、専門業者と契約をいたしまして、芝生の管理の対策をさせていただいております。別添の資料の写真のとおりですね、計画的な管理を行い、芝生については改善することができました。専門業者からの指導におきまして、目土、肥料、殺菌剤、殺虫剤等が不足するというので、追加購入をして引き続き管理を行っていきたいと考えております。本年度の事業としましては、本大会の練習会場の確保、ボランティアの確保、ボランティア等の宿泊施設の調整、PR活動の実施、また山形県南陽市へのインターハイソフトボール競技の視察、福井県へ福井国体のプレ大会の視察等を実施しております。また、9月26日は、本大会のポスターの選定作業を行いました。

国民体育大会 三重県大会でございますが、平成 33 年度にラグビーの成年男子とソフトボールの成年女子の大会を実施予定としております。これらの準備につきまして、本年度は準備委員会を 3 月に設立する予定でございます。以上でございます。

岡本総務課長 ただいまご説明いたしました「全国高校総体及び国民体育大会開催に向けての取組状況」につきまして、ご質問等ございましたらよろしくお願いたします。よろしいでしょうか。

それでは (3) のその他でございますが、各委員の皆様から何かございませんでしょうか。

教育委員全員 無し。

岡本総務課長 事務局からですが、次回の開催予定は、来年の 2 月を予定しております。内容につきましては、平成 29 年度の取組状況と効果、今後の課題及び平成 30 年度の取組等について考えております。

それでは、本日の事項についてすべて終了となりました。これで平成 29 年度第 2 回熊野市総合教育会議を閉会致します。本日はありがとうございました。